

学校 東雲 (しのめ)

だより



TEL 31-3170 31-3180 FAX 32-1130 http://www.hachinohe.ed.jp/higasi_j/

※東中学校の情報は、ホームページやブログでも公開しております。是非ご覧ください。

体育祭！さわやかな笑顔 爆ぜる！！

8月26日に体育祭が行われました。異常とも思えるほどの猛暑の中の体育祭でしたが、生徒会テーマの「爆ぜる（はぜる：はじけるの意味）」の通り、生徒の「さわやかな笑顔」がはじけまくったものとなりました。

はつらつとした入場行進のあとの開会式では、4人の団長が次のような、気迫あふれる選手宣誓を披露してくれました。『宣誓。我々選手一同は、「爆ぜる～刻め青春の輝跡～」のテーマのもと、黄軍は獅子のように気高く、どの軍にも負けない圧倒的な結束力とチームワークで1番になり、白軍は、白虎のように仲間を信頼する強い意志と爽やかな笑顔で1番になり、緑軍は、緑龍のようにどんな相手にも全力で挑み、そしてフェアプレーにおいても1番になり、紅軍は、歌舞伎のように体育祭を思いっきり楽しみ、炎のように燃える魂で1番になり、オリンピックにも負けないチーム力と全力プレーで青春と感動の軌跡を刻むことをここに誓います。』

結果は紅軍の優勝以下、白軍→緑軍→黄軍となりましたが、それを越えた「感動」や「感謝」「勇気」「友情」等の何かを、参加した生徒全員がそれぞれ得ることができたのではないかと思います。特に、閉会式における各軍団長のあいさつは感動的でしたので、ここに紹介いたします。

黄軍団長 伊藤克之君 「黄軍で頑張ってきたつもりですが、4位という結果になってしまいました。4つの軍で戦って、その一番下ということで、正直自分としては残念です。でも、みんなで頑張ってきたことは無駄じゃないし、あとラジオ体操賞と行進賞をとれたのは、本当にうれしかったです。黄軍のみなさん、本当にありがとうございました。あと個人的なことなのですが、ぼくは3年連続で行進賞をとることができました。先生方、体育祭を運営してくれた生徒会はじめ生徒の皆さん、ライバルたち、そして一緒に戦ってくれた黄軍のみんな、あと体育祭を見に来てくれた保護者のみなさん、本当にありがとうございました。最後に、今までぼくをささえてくれたお母さん、これからもよろしくお願いします。」

緑軍団長 加藤涼太君 「うわさの『骨の折れた』加藤です。緑軍のみなさん、骨を折ってしまってすみません。でも、俺がいなくても、みんな頑張ってくれてありがとうございました。今回の体育祭で、ぼくの学んだことを一つ言います。『骨は折れたとしても、友情は折れない』ということです。これからも友達を大切に、受験も頑張っていきたいと思えます。」

白軍団長 吉田周平君 「みんなで準優勝できてよかったです。今回の体育祭は、1年生から3年生まで、みんなでよく戦ってくれました。優勝した紅軍との差は80点ぐらいあったんですけど、3年生は練習では一度も勝てなかった棒倒しで勝てたので良かったです。3年生女子のムカデ競走は、練習では1位だったけど2位になってしまって、2年生男子の騎馬戦はよくて2年生女子も非常によくて、1年生は5組もよくて、1組はちょっと残念だったけど、でも結局は準優勝をとれて良かったです。優勝はできなかったけど、ぼくは準優勝でも全然いいと思っています。本当に、みんな、ありがとうございました。」

紅軍団長 佐々木悠介君 「隣りにいる奥谷諒君は、3年連続で優勝することができたそうです。紅軍のみんな、ありがとうございました。最初の練習の時は、本当に頼りない…、今でも頼りないんですが、副団長にばかり頼っていてすみませんでした。それでも最後には、優勝することができて本当にうれしかったです。」

優勝旗を持って団長と指揮台に上がった奥谷諒君 「俺は、目も細いし、足も短いし、滑舌も悪いし、だけどみんなのおかげでここまでこれたので、皆さんありがとうございました。」

今年の体育祭には、例年を大幅に上回る来賓・保護者の皆様においでいただきました。特に、応援合戦の際は、大勢の方々にご声援いただいたことで、生徒たちの演技もいっそう充実した内容になりました。本当にありがとうございました。

